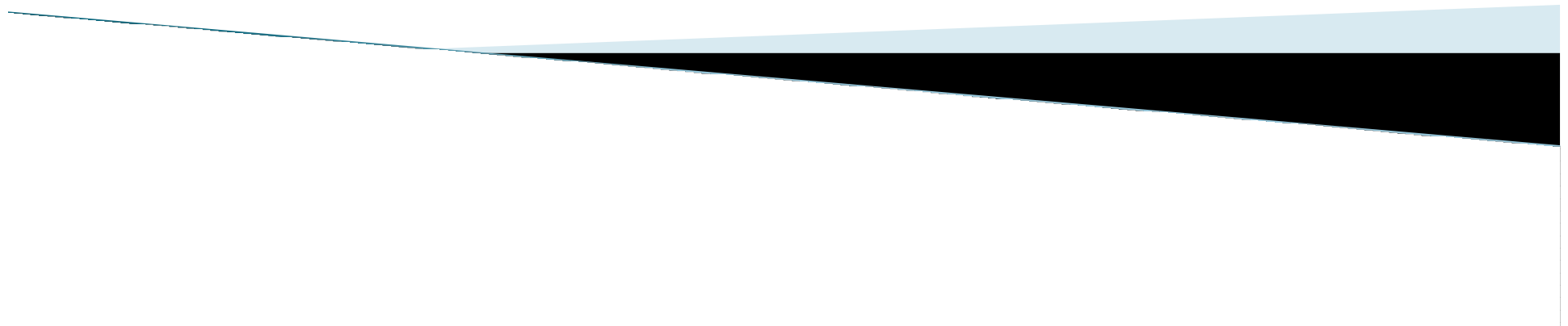


上級簿記 【第14回】

2012年度春学期
山根 陽一



簿記実践Ⅱ(2級)の内容

- ▶ 一般商品売買
 - 商品の引渡しと代金の受取りが同時
- ▶ 特殊商品売買
 - 商品の引渡しと代金の受取りが同時ではない
 - 予約販売 前受金a/c
 - 未着品売買 未着品a/cなど
 - 委託販売 積送品a/cなど
 - 手許商品区分法
 - 受託販売 受託販売a/c
 - 委託買付 委託買付a/c
 - 試用販売 試用品a/cなど
 - 対照勘定法、手許商品区分法
 - 割賦販売 割賦売掛金a/cなど
 - 販売基準、回収基準(対照勘定法、未実現利益控除法)

委託販売

- 受託者に自分の商品の販売を委託し、自分に代わって販売してもらう販売形態

▶ 収益認識

1. 委託者から受託社への商品の積送
2. 受託者による商品の販売
3. 受託者からの仕切精算書の受取り
4. 受託者からの販売代金の入金
 - 原則: 受託者販売日基準
 - 例外: 仕切精算書到着日基準
 - 仕切精算書が販売の都度、受託者から送られてくる場合

▶ 積送諸掛

- ① 積送時に発生するもの
 - 積送品原価に含めて処理
 - 販売費(積送諸掛)として処理
 - 期末に未販売分の諸掛りを繰延積送諸掛(資産)として繰り延べる
- ② 委託中に発生するもの
 - 販売費(積送諸掛)として処理
 - 期末に未販売分の諸掛りを繰延積送諸掛(資産)として繰り延べる
- ③ 受託者に支払う手数料
 - 販売費(積送諸掛)として処理
 - 例外: 積送品売上と相殺(純額で積送品売上を表示)

委託販売

▶ 会計処理

- 手許商品区分法(商品を積送したときに仕入a/cから積送品a/cに振り替える方法)

- その都度法

- 販売の都度、積送品の売上原価を仕入a/cに振り替える方法

1.	積送時	積送品	××	仕入	××
2.	販売時	積送売掛金	××	積送売上	××
		仕入	××	積送品	××
3.	決算時	仕入	××	積送品(期末)	××
		積送品(期末)	××	仕入	××

- 期末一括法

- 期末に一括して販売した積送品の売上原価を仕入a/cに振り替える方法

1.	積送時	積送品	××	仕入	××
2.	販売時	積送売掛金	××	積送売上	××
3.	決算時	仕入	××	積送品(残高)	××
		積送品(期末)	××	仕入	××

- 対照勘定法(対照勘定を用いて処理する方法)

試用販売

- 商品を試しに使用してもらい、後日、買取の意思表示を受けたときに売上を計上する販売形態

▶ 収益認識

1. 商品を発送(試送)
2. A 買取の意思表示
2. B 返品の意味表示

▶ 会計処理

- 手許商品区分法(商品を試送したときに仕入a/cから試用品a/cに振り替える方法)

- その都度法

- 売上の都度、それに対応する原価を試用品a/cから仕入a/cに振り替える方法

1.	試送時	試用品	× ×	仕入	× ×
2.	買取意思表示時	売掛金	× ×	試用品売上	× ×
		仕入	× ×	試用品	× ×
3.	決算時	仕入	× ×	試用品(期末)	× ×
		試用品(期末)	× ×	仕入	× ×

- 期末一括法

- 期末に一括して試用品の原価を仕入a/cに振り替える方法

1.	試送時	試用品	× ×	仕入	× ×
2.	買取意思表示時	売掛金	× ×	試用品売上	× ×
3.	決算時	仕入	× ×	試用品(残高)	× ×
		試用品(期末)	× ×	仕入	× ×

試用販売

- 対照勘定法(対照勘定を用いて処理する方法)
- ・ 試用販売契約a/cと試用仮売上a/cの対照勘定で処理

1. 試送時	試用販売契約	× ×	試用仮売上	× ×
2. 買取意思表示時				
	売掛金	× ×	試用品売上	× ×
	試用仮売上	× ×	試用販売契約	× ×
3. 決算時	試用品(未販売分)	× ×	仕入	× ×